

Reyaid 氏らの姿を見ていると、このような森林低被覆率国の今後の援助がいかに大切かを認識した。

最後に、在シリア国日本国大使館霜垣和雄氏、JICA シリア事務所森裕之氏及び JICA の短期調査員加藤宏明氏には現地調査にあたり大変お世話になったことを付記して感謝の意を表したい。また現地の森林・林業局長をはじめ、調査対象となった各県農林局の関係各位には大変お世話になり、ここに有り難く謝意を表したい。

〔参考文献〕 熱帯林業 No. 36 シリアの森林・林業, 1996 年. シリアアラブ共和国農業・農地改革省森林法 (和訳). 地中海とその東部近辺の林業と食糧保証 シリア編 (和訳). 森林・森林再生行政局組織図 (和訳). シリア植樹祭パンフレット (和訳). Arab Forest & Range Institute Information. 平成 11 年度海外林業開発協力事業事前調査事業報告書 (シリア・アラブ共和国編)

図書紹介

◎自分たちの未来は自分たちで決めたい：JVC ラオス森林保全プロジェクトの記録 赤坂むつみ著 日本国際ボランティアセンター出版 東京 (03-3834-2388), 定価 700 円

本書は筆者が日本国際ボランティアセンター (JVC) からラオスの社会林業プロジェクトに派遣された時の記録である。ほとんど地域開発や社会林業について素人だった筆者が、住民の参加について模索し、住民ともに学んで行く過程が描かれている。またその過程を、JVC という組織の記憶として、あるいは読者との共同の経験の蓄積として生かすために本書は編まれたようである。

参加型開発手法を用いた社会林業の経験について書かれた本は、現在のところ他にあまり例がなく、貴重な経験談がまとめられている。アカデミックな情報には乏しいが、住民が主体となった社会林業のプロジェクトのあり方の一つを示す、良い参考書であると言える。ただし本書は参加型開発アプローチの一つである PRA (Participatory Rural Appraisal) の経験に言及しているものの、主題はあくまで住民や援助する NGO が変化していくダイナミズムにあり、アプローチそのものの教科書としては利用できない。(野田直人)